

イメージ変換一発ミニエンジン

iHime 操作手引書

Copyright (C) 2008 HIROTAKA YAMASHITA.
All Rights Reserved.

2008-06-07

Copyright © 2008 HIROTAKA YAMASHITA

本書に記載されている企業名，団体名や製品名などはそれぞれの権利帰属者の商標または商標登録であり所有物です。

なお，本書では“TM” 及び “®” は明記していません。

目次

第 1 章	イントロダクション	2
1.1	iHime は、何をするソフトウェアか？	2
1.2	実行環境	2
1.3	インストール	2
1.4	ライセンス	2
第 2 章	基本操作	8
2.1	iHime の起動と終了	8
2.2	変換ファイルの指定	8
2.3	変換ファイルの保存先指定	9
2.4	一括変換	10

第1章 イン트로ダクション

1.1 iHime は、何をするソフトウェアか？

iHime は、単純なソフトウェアです。できることは、とても限られたことです。それは、Web 上で使用される画像形式である JPEG、PNG、GIF の各形式のイメージのリサイズだけです。

ただし、複数の画像ファイルを指定し、設定されたサイズに一括で変換することができます。なお、GIF 形式への対応は不十分です。別のプラグインを組込めば可能になるようですが、標準状態の Java 環境では正常に変換することができません。つまり、実際の仕様においては、JPEG あるいは PNG の形式を推奨します。

1.2 実行環境

iHime は、プログラミング言語 Java によって作られています。よって、オペレーティング・システムの影響を最小限に留めることが可能です。事実、iHime の開発は Apple 社の Mac OS X 10.4 の上で作成され、主に Windows XP の元で使用されています。

ただし、Java の実行環境による影響は受けてしまいます。具体的には、Java 実行環境 (Java Runtime Environment:JRE) のバージョンが 1.4 以上のものを使用してください。

また、iHime 本体は、Java の実行ファイルを圧縮した JAR 形式で提供していますので、拡張子 .jar が JRE 以外のソフトウェアに関連付けられている場合（特に Windows 系 OS の場合）、正常に起動できないことがあります。その場合は、関連付けを変更してください。

1.3 インストール

iHime のインストールは、とても簡単です。つぎのファイルを適当なディレクトリにコピーするだけです。

iHime.jar

また、iHime は非常に小さなソフトウェアですから、コンピュータ上のハードディスクでなく、USB メモリのような持ち運びのできるものに入れることもできます。

1.4 ライセンス

iHime は、クリエイティブ・コモンズ・ライセンスにより、ライセンスされています。クリエイティブ・コモンズ・ライセンスの内容に関しては、つぎの URL を参照してください。

<http://www.creativecommons.jp/>

では、つぎに利用許諾条項を掲載しておきます。



アトリビューション—ノンコマーシャル—シェアアライク 2.1
(帰属—非営利—同一条件許諾)

クリエイティブ・コモンズ及びクリエイティブ・コモンズ・ジャパンは法律事務所ではありません。この利用許諾条項の頒布は法的アドバイスその他の法律業務を行うものではありません。クリエイティブ・コモンズ及びクリエイティブ・コモンズ・ジャパンは、この利用許諾の当事者ではなく、ここに提供する情報及び本作品に関しいかなる保証も行いません。クリエイティブ・コモンズ及びクリエイティブ・コモンズ・ジャパンは、いかなる法令に基づこうとも、あなた又はいかなる第三者の損害（この利用許諾に関連する通常損害、特別損害を含みますがこれらに限られません）について責任を負いません。

利用許諾

本作品（下記に定義する）は、このクリエイティブ・コモンズパブリックライセンス日本版（以下「この利用許諾」という）の条項の下で提供される。本作品は、著作権法及び／又は他の適用法によって保護される。本作品をこの利用許諾又は著作権法の下で授權された以外の方法でを使用することを禁止する。

許諾者は、かかる条項をあなたが承諾することとひきかえに、ここに規定される権利をあなたに付与する。本作品に関し、この利用許諾の下で認められるいずれかの利用を行うことにより、あなたは、この利用許諾（条項）に拘束されることを承諾し同意したこととなる。

第1条 定義

この利用許諾中の用語を以下のように定義する。その他の用語は、著作権法その他の法令で定める意味を持つものとする。

- a. 「**二次的著作物**」とは、著作物を翻訳し、編曲し、若しくは変形し、または脚色し、映画化し、その他翻案することにより創作した著作物をいう。ただし、編集著作物又はデータベースの著作物（以下、この二つを併せて「**編集著作物等**」という。）を構成する著作物は、二次的著作物とみなされない。また、原著作者及び実演家の名誉又は声望を害する方法で原著物を改作、変形もしくは翻案して生じる著作物は、この利用許諾の目的においては、二次的著作物に含まれない。
- b. 「**許諾者**」とは、この利用許諾の条項の下で本作品を提供する個人又は団体をいう。
- c. 「**あなた**」とは、この利用許諾に基づく権利を行使する個人又は団体をいう。
- d. 「**原著作者**」とは、本作品に含まれる著作物を創作した個人又は団体をいう。
- e. 「**本作品**」とは、この利用許諾の条項に基づいて利用する権利が付与される対象たる無体物であり、著作物、実演、レコード、放送にかかる音又は映像、もしくは有線放送にかかる音又は映像をすべて含むものとする。
- f. 「**ライセンス要素**」とは、許諾者が選択し、この利用許諾に表示されている、以下のライセンス属性をいう：帰属・非営利・同一条件許諾

第 2 条 著作権等に対する制限

この利用許諾に含まれるいかなる条項によっても、許諾者は、あなたが著作権の制限（著作権法第 30 条～49 条）、著作者人格権に対する制限（著作権法第 18 条 2 項～4 項、第 19 条 2 項～4 項、第 20 条 2 項）、著作隣接権に対する制限（著作権法第 102 条）その他、著作権法又はその他の適用法に基づいて認められることとなる本作品の利用を禁止しない。

第 3 条 ライセンスの付与

この利用許諾の条項に従い、許諾者はあなたに、本作品に関し、すべての国で、ロイヤリティ・フリー、非排他的で、（第 7 条 b に定める期間）継続的な以下のライセンスを付与する。ただし、あなたが以前に本作品に関するこの利用許諾の条項に違反したことがないか、あるいは、以前にこの利用許諾の条項に違反したがこの利用許諾に基づく権利を行使するために許諾者から明示的な許可を得ている場合に限る。

- a. 本作品に含まれる著作物（以下「本著作物」という。）を複製すること（編集著作物等に組み込み複製することを含む。以下、同じ。）、
- b. 本著作物を翻案して二次的著作物を創作し、複製すること、
- c. 本著作物又はその二次的著作物の複製物を頒布すること（譲渡または貸与により公衆に提供することを含む。以下同じ。）、上演すること、演奏すること、上映すること、公衆送信を行うこと（送信可能化を含む。以下、同じ。）、公に口述すること、公に展示すること、
- d. 本作品に含まれる実演を、録音・録画すること（録音録画物を増製することを含む）、録音録画物により頒布すること、公衆送信を行うこと、
- e. 本作品に含まれるレコードを、複製すること、頒布すること、公衆送信を行うこと、
- f. 本作品に含まれる、放送に係る音又は影像を、複製すること、その放送を受信して再放送すること又は有線放送すること、その放送又はこれを受信して行う有線放送を受信して送信可能化すること、そのテレビジョン放送又はこれを受信して行う有線放送を受信して、影像を拡大する特別の装置を用いて公に伝達すること、
- g. 本作品に含まれる、有線放送に係る音又は影像を、複製すること、その有線放送を受信して放送し、又は再有線放送すること、その有線放送を受信して送信可能化すること、その有線テレビジョン放送を受信して、影像を拡大する特別の装置を用いて公に伝達すること、

上記に定められた本作品又はその二次的著作物の利用は、現在及び将来のすべての媒体・形式で行うことができる。あなたは、他の媒体及び形式で本作品又はその二次的著作物を利用するのに技術的に必要な変更を行うことができる。許諾者は本作品又はその二次的著作物に関して、この利用許諾に従った利用については自己が有する著作者人格権及び実演家人格権を行使しない。許諾者によって明示的に付与されない全ての権利は、留保される。

第 4 条 受領者へのライセンス提供

あなたが本作品をこの利用許諾に基づいて利用する度毎に、許諾者は本作品又は本作品の二次的著作物の受領者に対して、直接、この利用許諾の下であなたに許可された利用許諾と同じ条件の本作品のライセンスを提供する。

第 5 条 制限

上記第 3 条及び第 4 条により付与されたライセンスは、以下の制限に明示的に従い、制約される。

- a. あなたは、この利用許諾の条項に基づいてのみ、本作品を利用することができる。
- b. あなたは、この利用許諾又はこの利用許諾と同一のライセンス要素を含むほかのクリエイティブコモンズ・ライセンス（例えば、この利用許諾の新しいバージョン、又はこの利用許諾と同一のライセンス要素の他国籍ライセンスなど）に基づいてのみ、本作品の二次的著作物を利用することができる。
- c. あなたは、本作品を利用するときは、この利用許諾の写し又は URI（Uniform Resource Identifier）を本作品の複製物に添付又は表示しなければならない。
- d. あなたは、本作品の二次的著作物を利用するときは、この利用許諾又はこの利用許諾と同一のライセンス要素を含むほかのクリエイティブコモンズライセンスの写し又は URI を本作品の二次的著作物の複製物に添付または表示しなければならない。
- e. あなたは、この利用許諾条項及びこの利用許諾によって付与される利用許諾受領者の権利の行使を変更又は制限するような、本作品又はその二次的著作物に係る条件を提案したり課したりしてはならない。
- f. あなたは、本作品を再利用許諾することができない。
- g. あなたは、本作品又はその二次的著作物の利用にあたって、この利用許諾及びその免責条項に関する注意書きの内容を変更せず、見やすい状態でそのまま掲載しなければならない。
- h. あなたは、この利用許諾条項と矛盾する方法で本著作物へのアクセス又は使用をコントロールするような技術的保護手段を用いて、本作品又はその二次的著作物を利用してはならない。
- i. 本条の制限は、本作品又はその二次的著作物が編集著作物等に組み込まれた場合にも、その組み込まれた作品に関しては適用される。しかし、本作品又はその二次的著作物が組み込まれた編集著作物等そのものは、この利用許諾の条項に従う必要はない。
- j. あなたは、本作品又はその二次的著作物を営利目的で利用してはならない。デジタル・ファイル共有その他の手段による本作品又はその二次的著作物とその他の作品との交換は、作品の交換に関連して金銭的報酬の支払いがない限り、営利を目的とするものとはみなさない。
- k. あなたは、本作品、その二次的著作物又は本作品を組み込んだ編集著作物等を利用する場合には、(1) 本作品に係るすべての著作権表示をそのままにしておかなければならず、(2) 原作者及び実演家のクレジットを、合理的な方式で、（もし示されていれば原作者及び実演家の名前又は変名を伝えることにより、）表示しなければならず、(3) 本作品のタイトルが示されている場合には、そのタイトルを表示しなければならず、(4) 許諾者が本作品に添付するよう指定した URI があれば、合理的に実行可能な範囲で、その URI を表示しなければならず（ただし、その URI が本作品の著作権表示またはライセンス情報を参照するものでないときはこの限りでない。）(5) 二次的著作物の場合には、当該二次的著作物中の原著作物の利用を示すクレジットを表示しなければならない。これらのクレジットは、合理的であればどんな方法でも行うことができる。しかしながら、二次的著作物又は編集著作物等の場合には、少なくとも他の同様の著作者のクレジットが表示される箇所で当該クレジットを表示し、少なくとも他の同様の著作者のクレジットと同程度に目立つ方法であることを要する。
- l. もし、あなたが、本作品の二次的著作物、又は本作品もしくはその二次的著作物を組み込んだ編集著作物等を創作した場合、あなたは、許諾者からの通知があれば、実行可能な範囲で、要求に応じて、二次的著作物又は編集著作物等から、許諾者又は原作者への言及をすべて除去しなければならない。

第 6 条 責任制限

この利用許諾の両当事者が書面にて別途合意しない限り、許諾者は本作品を現状のまま提供するものとし、明示・黙示を問わず、本作品に関していかなる保証（特定の利用目的への適合性、第三者の権利の非侵害、欠陥の不存在を含むが、これに限られない。）もしない。

この利用許諾又はこの利用許諾に基づく本作品の利用から発生する、いかなる損害（許諾者が、本作品にかかる著作権、著作隣接権、著作者人格権、実演家人格権、商標権、パブリシティ権、不正競争防止法その他関連法規上保護される利益を有する者からの許諾を得ることなく本作品の利用許諾を行ったことにより発生する損害、プライバシー侵害又は名誉毀損から発生する損害等の通常損害、及び特別損害を含むが、これに限らない。）についても、許諾者に故意又は重大な過失がある場合を除き、許諾者がそのような損害発生の可能性を知らされたか否かを問わず、許諾者は、あなたに対し、これを賠償する責任を負わない。

第 7 条 終了

- a. この利用許諾は、あなたがこの利用許諾の条項に違反すると自動的に終了する。しかし、本作品、その二次的著作物又は編集著作物等をあなたからこの利用許諾に基づき受領した第三者に対しては、その受領者がこの利用許諾を遵守している限り、この利用許諾は終了しない。第 1 条、第 2 条、第 4 条から第 9 条は、この利用許諾が終了してもなお有効に存続する。
- b. 上記 a に定める場合を除き、この利用許諾に基づくライセンスは、本作品に含まれる著作権法上の権利が存続するかぎり継続する。
- c. 許諾者は、上記 a および b に関わらず、いつでも、本作品をこの利用許諾に基づいて頒布することを将来に向かって中止することができる。ただし、許諾者がこの利用許諾に基づく頒布を将来に向かって中止した場合でも、この利用許諾に基づいてすでに本作品を受領した利用者に対しては、この利用許諾に基づいて過去及び将来に与えられるいかなるライセンスも終了することはない。また、上記によって終了しない限り、この利用許諾は、全面的に有効なものとして継続する。

第 8 条 その他

- a. この利用許諾のいずれかの規定が、適用法の下で無効及び／又は執行不能の場合であっても、この利用許諾の他の条項の有効性及び執行可能性には影響しない。
- b. この利用許諾の条項の全部又は一部の放棄又はその違反に関する承諾は、これが書面にされ、当該放棄又は承諾に責任を負う当事者による署名又は記名押印がなされない限り、行うことができない。
- c. この利用許諾は、当事者が本作品に関して行った最終かつ唯一の合意の内容である。この利用許諾は、許諾者とあなたとの相互の書面による合意なく修正されない。
- d. この利用許諾は日本語により提供される。この利用許諾の英語その他の言語への翻訳は参照のためのものに過ぎず、この利用許諾の日本語版と翻訳との間に何らかの齟齬がある場合には日本語版が優先する。

第 9 条 準拠法

この利用許諾は、日本法に基づき解釈される。

本作品がクリエイティブ・コモンズ・ライセンスに基づき利用許諾されたことを公衆に示すという限定された目的の場合を除き、許諾者も被許諾者もクリエイティブ・コモンズの事前の書面による同意なしに「クリエイティブ・コモンズ」の商標若しくは関連商標又はクリエイティブ・コモンズのロゴを使用しないものとします。使用が許可された場合はクリエイティブ・コモンズおよびクリエイティブコモンズジャパンのウェブサイト上に公表される、又はその他随時要求に従い利用可能となる、クリエイティブ・コモンズの当該時点における商標使用指針を遵守するものとします。クリエイティブ・コモンズは <http://creativecommons.org/> から、クリエイティブ・コモンズ・ジャパンは <http://www.creativecommons.jp/> から連絡することができます。

第2章 基本操作


2.1 iHime の起動と終了

iHime の起動は、とても簡単です。ファイル iHime.jar をダブルクリックするだけです。正常に起動できれば、つぎのような画面が表示されるはずです。



終了も起動と同じく簡単です。単純にウィンドウを閉じれば終了となります。

2.2 変換ファイルの指定

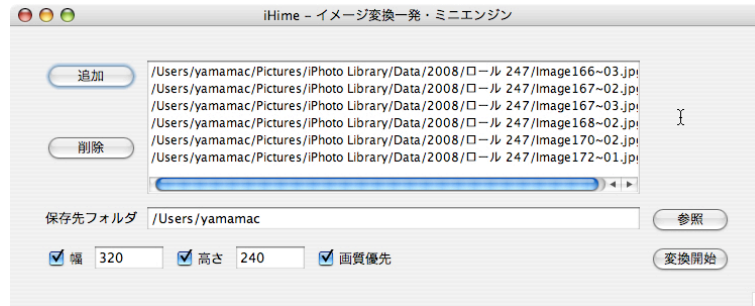
手順 1. 変換したい画像ファイルを指定するためには、まず、「追加ボタン」  をクリックします。

手順 2. 変換する画像ファイルを選択するためのダイアログが表示されます。変換したい画像ファイルを選択し、選択ボタンをクリックします。



なお、ここで表示されるダイアログは、Java 実行環境が動作しているオペレーティング・システムにより影響されます。そのため、複数の画像を選択する操作は、各オペレーティング・システムの操作を参照してください。ちなみに、Mac では、command キーあるいはシフトキーを、Windows では、コントロールキー、シフトキーを使用します。

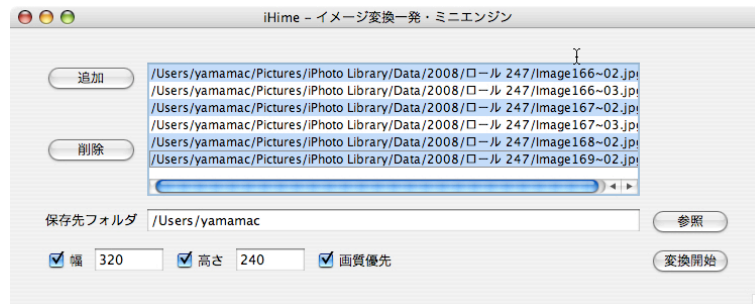
選択されたファイルは、リストに表示されます。

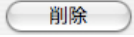


変換ファイルがリスト欄に表示されますが、この変換対象リストからファイルを除外したい場合は、つぎの手順で操作します。

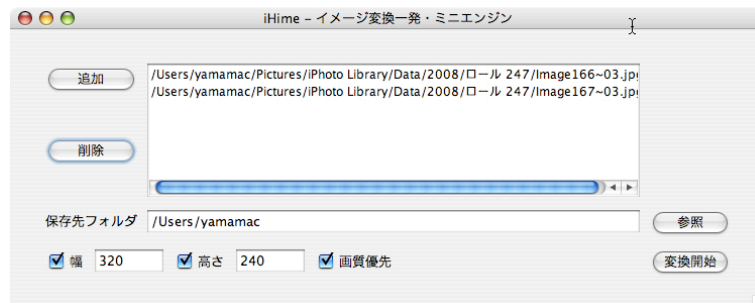
手順 1. 除外したいファイルをリスト欄から選択します。

選択操作は、Java 実行環境が動作しているオペレーティング・システムにより影響されます。そのため、複数の画像を選択する操作は、各オペレーティング・システムの操作を参照してください。ちなみに、Mac では、command キーあるいはシフトキーを、Windows では、コントロールキー、シフトキーを使用します。



手順 2. 除外するファイルを選択したならば、「削除ボタン」  をクリックします。

これで、ファイルがリストから削除されます。



2.3 変換ファイルの保存先指定

リサイズ後のファイルの保存先を指定します。変換されたファイル名は、変換元と同一のファイル名で保存されます。そのため、変換元のファイルと同一のフォルダを保存先に指定した場合の動作は保証されません。必ず、異なるフォルダを変換先のフォルダとして指定してください。

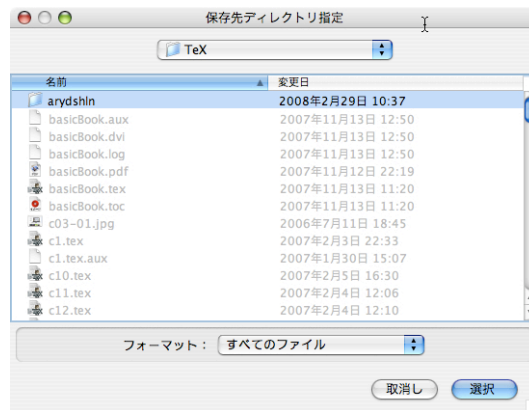
手順 1. 保存先フォルダの欄に保存先フォルダ名を入力します。

保存先フォルダ /Users/yamamac

あるいは、つぎの手順で保存先フォルダを指定することもできます。

手順 1. 「参照ボタン」  をクリックします。

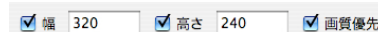
手順 2. つぎのような、保存先ディレクトリ指定ダイアログが表示されるので、変換先ファイルを保存するディレクトリを選択して、「選択ボタン」をクリックします。



以上で、保存先フォルダの選択が完了し、保存先フォルダの欄に保存先フォルダへのパスが表示されます。

2.4 一括変換

変換元ファイルの選択、および変換先ファイルの保存フォルダを指定したならば、つぎに変換サイズ、および変換アルゴリズムの選択を行います。



手順 1. 横幅をリサイズする場合、「幅」にチェックし、変換後のサイズをピクセル単位で入力します。「幅」をチェックしない場合、高さに応じた幅に自動的に計算されます。

手順 2. 高さをリサイズする場合、「高さ」にチェックし、変換後のサイズをピクセル単位で入力します。「高さ」をチェックしない場合、幅に応じた高さに自動的に計算されます。

手順 3. 画質優先アルゴリズムを使用する場合にチェックします。チェックしない場合は、速度優先アルゴリズムが使用されます。

なお、Java 標準のアルゴリズムを使用しているため、市販ソフトほどの高画質は望めません。

手順 4. 「変換開始ボタン」  をクリックします。

以上の操作で、変換が開始されます。

ここで注意しなければならないことは、「幅」と「高さ」の両方あるいは片方を必ずチェックして、リサイズ後の大きさを指定することです。

リサイズ後の大きさは、その指定方法により異なります。幅と高さ、両方を指定した場合には、指定された変換元ファイルが元の大きさに関係なく、指定サイズにリサイズされます。また、片方の

みを指定した場合には、幅あるいは高さは指定された大きさにリサイズされますが、指定されていない側は、元のサイズと同一の比率で計算された値になります。

手順 5. 変換経過が表示されます。変換が終了したならば、「閉じるボタン」をクリックします。

